

松戸市学校施設長寿命化・再整備計画（第Ⅰ期）に関する Q&A

Q1：令和 10 年度までの計画とした理由は

A1：本計画の上位計画である松戸市公共施設再編整備基本計画の第Ⅰ期期間が、令和元年度から令和 10 年度までの 10 年間としていることから、整合性を図り令和 10 年度までとしております。

Q2：第Ⅰ期以降の計画の予定は

A2：今後 5 年ごとに見直しを行い、10 年ごとに更新してまいります。

Q3：長寿命化はどのような整備をするのか

A3：整備内容は、屋上防水や外壁改修など、耐久性に優れた素材による改修工事や、水道、電気などライフラインの更新、施設の安全性を高めるコンクリートの中性化や鉄筋腐食対策に加え、施設の快適性を高めるトイレのドライ化（乾式化）、照明の LED 化、バリアフリー化などの整備を想定しておりますが、各部位の整備レベルは建物の劣化状況や過去の改修内容などを勘案し設定してまいります

Q4：長寿命化と大規模改造との違いは

A4：従来の大規模改造事業は、経年による劣化や損傷・故障等が生じた内外装材や設備等を改修・更新するなど、建設当時の状態に戻すことを主な目的としていますが、長寿命化改良事業は、これに構造体の劣化防止やライフラインの更新、教育環境の改善等を加えた質の高い工事を行います。

Q5：改修単位は、学校全体か一部か

A5：「学校全体」ではなく、「棟単位」での改修を計画しています。

Q6：長寿命化・再整備計画に屋内体育館は含まれているのか

A6：長寿命化・再整備計画の対象施設に含まれております。ただし、第Ⅰ期の実施計画には含まれておらず、第Ⅱ期以降の対象になります。

Q7：令和10年度までは長寿命化改修以外の工事はやらないのか

A7：建物の劣化状況に応じた部位修繕や改修については、今までと同様に実施し、適切な施設管理に努めてまいります。

Q8：実施計画の校舎の具体的な実施年度は

A8：長寿命化工事の工程は、基本的には第1段階で躯体の健全性調査を行い、第2段階で基本設計・実施設計を、第3段階でおよそ2か年にかけて工事を実施していく予定ですが、不確定要素も多分に含まれることから、本計画には具体的な実施年度は明記されておりません。また、調査や設計段階の状況などによって実施時期の前倒しや後ろ倒しも想定されますので、計画については5年ごとに見直しを行います。

Q9：実施計画の整備対象施設はどのように決めたのか

A9：第①段階の築年数から多く経過した施設から順位付けを行い、第②段階から第④段階までそれぞれの条件に照らし合わせた評価を加え優先順位を付けております。

第①段階：築年数から多く経過した施設を優先

第②段階：大規模な保全的工事の実績を評価

第③段階：校舎を優先とし、児童生徒推計や地域の実情に応じて評価

第④段階：分類ごとに財政の平準化

Q10：昭和30年代建築の校舎が第I期に含まれていないのはなぜか

A10：実施計画の整備対象施設は、A9のとおり選定しており、昭和30年代に建築された

以下の校舎は築年数としては優先順位が高いのですが、第②段階にて大規模改造工事の実績が評価され、さらに常盤平地区は第③段階にて児童生徒推計や地域の実情に応じた評価がされた結果、第I期には含まれておりません。

・常盤平第一小学校 中央校舎（S34 建築／S63 大規模改造・H8 耐震補強）

… 第②段階・第③段階で評価

・常盤平第一小学校 北校舎（S35 建築／H1 大規模改造・H8 耐震補強）

… 第②段階・第③段階で評価

・小金小学校 西校舎（S39 建築／H3 大規模改造・H8 耐震補強）

… 第②段階で評価

・稔台小学校 北2校舎（S39 建築／S63 大規模改造・H26 耐震補強）

… 第②段階で評価

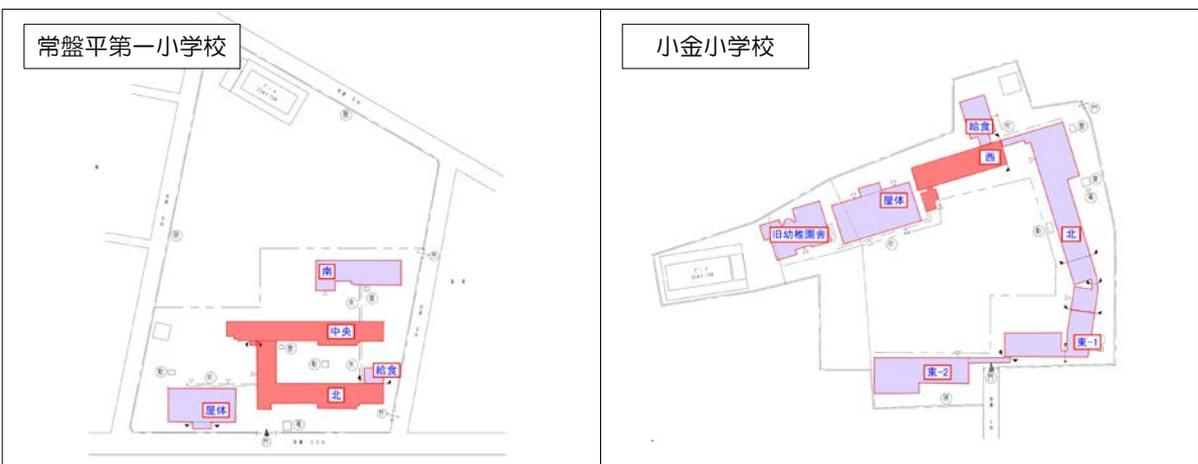
・第二中学校 西校舎（S39 建築／S62 大規模改造・H10 耐震補強）

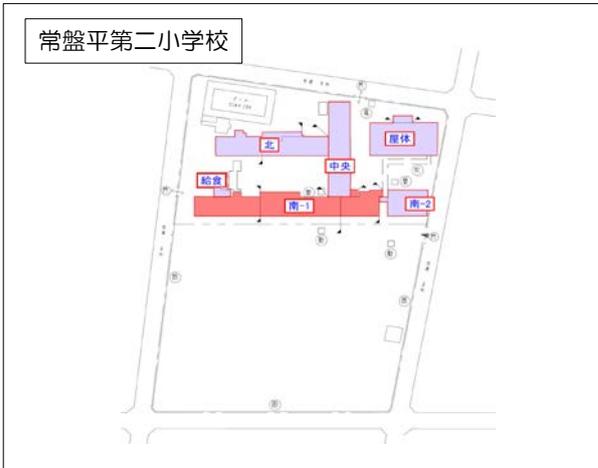
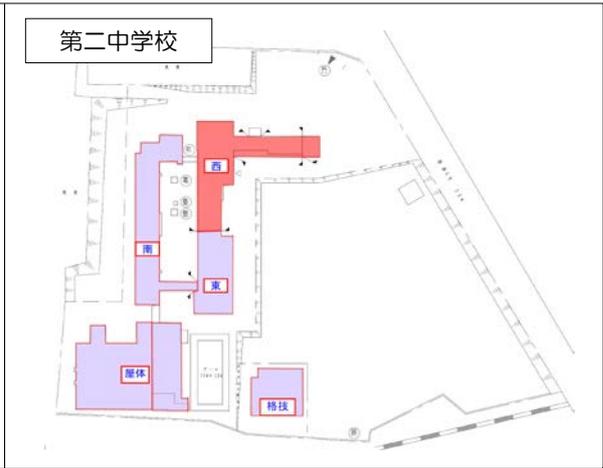
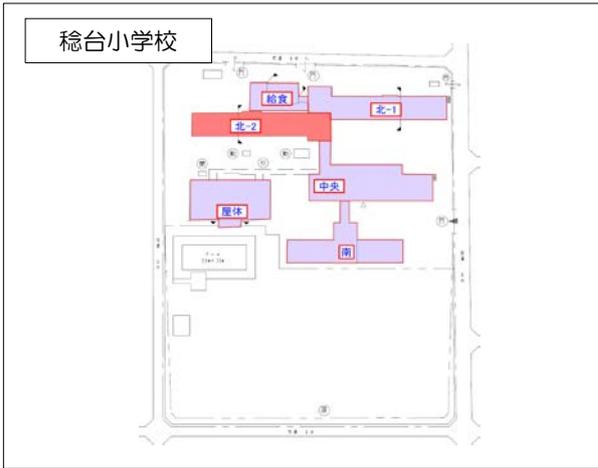
… 第②段階で評価

・常盤平第二小学校 南1校舎（S39 建築／H2 大規模改造・H26 耐震補強）

… 第②段階・第③段階で評価

5校の配置図





Q11 : 実施計画の整備対象建物はどの棟なのか

A 11 : 建物名と対象の建物は以下のとおりです。ただし、A8 のとおり調査や設計段階の状況などによって実施時期の前倒しや後ろ倒しも想定されます。

15 校の配置

